

滋賀県議会議員

まなぶ

Kunori Manabu Report

令和4年
新春号
VOL.43

くらしのご相談やご意見など FB(フェイスブック)日々更新中
ございましたらお気軽に

www.9ri.jp

くのり学事務所へ

TEL077-558-1809/FAX077-558-0665



九里学レポート

(事務所・自宅) 〒520-3001 滋賀県栗東市東坂409-3

(発行責任者/九里学・編集責任者/米津 進)



クリーンで身近なひらかれた県政のために

子ども達の学びを
充実するために

地道に!! 頑張ろう!!

九里学

令和四年一月吉日

滋賀県議会議員

お願い致します

『花鳥風月』のように派手さはなくとも『山川草木』の如く地道にひたむきに日々続けることの大切さを肝に銘じ熱意と誠意と創意をもって活動してまいります。本年もどうぞよろしく

皆様方には 健やかに希望に満ちた初春をお迎えになられましたこととお慶び申し上げます。多くの県民市民の皆様のお陰で 県議会としてコロナ禍に負けずお正月を迎えさせていただくことができました。

新年あけまして
おめでどう
ございます



【役職】

- ・滋賀県監査委員
- ・環境・農水常任委員会委員
- ・滋賀県ラグビーフットボール協会副会長
- ・滋賀県スポーツ振興議員連盟副代表
- ・栗東柔道スポーツ少年団育成会名誉会長
- ・栗東市卓球協会会長
- ・栗東都市整備株式会社相談役
- ・栗東音楽振興会[R.I.S.S.]会長 他

くのり学 新春年賀会 開催中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2022年(令和4年)のくのり学新春年賀会はやむなく開催を中止させていただくこととなりました。日頃よりご指導ご鞭撻いただいております皆様のご厚誼に深く感謝申し上げますとともに、ご理解の程よろしくお願いたします。(拝)

11月定例会議(12月7日 抜粋) 九里学 知事・教育長・選挙管理委員会委員長に質す

学校図書館への新聞配備拡充について

全国的に『国語力』の弱い滋賀の子ども達の『読み解く力』を養うため又、スマホやSNSだけでは身につかない『学習力』強化のため日常的に継続して長い時間を過ごす学校現場にある図書館(室)の環境を改善すべきと知事並びに教育長、選挙管理委員会委員長に質問しました。

Q…本県学校図書館の現状と課題、可能性について教育長はどう認識されているか。

A…学校図書館には、児童生徒の読書活動や学習活動、情報の収集・選択・活用を充実させるという大切な役割があります。しかし、本県学校図書館の環境設備については全国と比べ未だ不十分な点があると認識しております。読書週間の確立、読書指導の充実、図書整備などさらなる改善や機能強化を進めていますが、更に情報を正しく理解・整理する『読み解く力』の基盤となる主体的で対話的、深い学びの実現のためしっかり取り組みます。

Q…学校図書館と新聞の充実は主体的で客観的な判断や子ども達の成長に資すると考えるが、その役割について教育長はどのような見解をおもちか。

A…学校図書館における新聞は図書資料として

活用される他、児童生徒の健全な育成に資する役割をもつと認識しています。複数の新聞を活用することで多様な見解、ものの見方に触れることができ、社会の関心を高め自分ごととして考え深めることにつながると考えています。

Q…本県学校図書館の新聞配備が全国的に相当低い状況にあることの対策をどうするか。

A…会議の場や研修会などを通じ県立学校、また市町立学校に意義や必要性についてこれまで周知に努めてきましたが、未だ配備状況が低い状況にあると認識しております。

探究的な学習、主権者教育の観点からも、新聞が有用であり学校図書館への配備促進について、改めて学校長へしっかりと働きかけてまいります。更に新聞を活用した『読み解く力』を育成する授業、具体時な実践例を紹介したり、教員が新聞を活用した授業を実際に体験する研修

会の開催などでまずは「新聞の意義」について改めて周知に努め、新聞配備の学校への充実についても県内19市町に働きかけてまいります。

Q…新年度から学校図書館の充実と新聞配備を拡充するための取組と予算化をすすめることについて知事の所見を伺います。

A…『読書の場』であることはもちろん、学習支援の場としても学校図書館は重要であり、議員もご指摘いただいた様に、主体的・対話的で深い学び、いわゆるアクティブ・ラーニングのためにも大変有効な場所です。新聞を活用し見識を深めることは国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、判断し、行動していく主権者になることにもつながると考えています。児童生徒の発達段階に応じて新聞を活用すること、図書館への配備は大切だと考えます。市町への働きかけ、新聞各社との協働、連携のあり方を含め

教育委員会とともに考えていきます。

Q…小学校の間から『主権者教育の推進』に向けて、学校図書館に新聞配備を拡充することの意義について選挙管理委員会委員長に伺います。

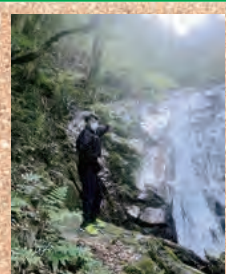
A…高校2年生への昨年度のアンケートでは「政治に関心がある」「投票に行こうと思う」との回答が全体の約9割あり、選挙時に新聞報道を「いつも見ている」と答えた生徒のうち約6割が「選挙に必ず行こうと思う」と答え、新聞報道を通して、政治や選挙、投票への関心が高まると考えられます。

これから学校図書館に新聞を配備し、児童・生徒に社会や政治への関心を高める取り組みは『主権者教育』を推進する観点からも意義があると考えます。今後、教育委員会と連携し『主権者教育推進』の観点からも前に努めてまいります。(文章一部抜粋)

九里学 11月~12月 レポート



琵琶湖の水位低下と水産業への影響を調査する(11月~12月・高島市)



荒廃した「九品の滝」を修繕し観光地化へ(12/14~・金勝)



算津・栗東・守山・手原のJR各駅で朝の県政報告も15年目



芸術や音楽に親しめる環境づくりを先導する(11月~12月)

九里学質問答弁各朝刊(12/8...京都・読売)に掲載される

小学校図書館に新聞配備を... 滋賀県教育委員会の福永忠孝教育長は7日、県内の小中学校の学校図書館に新聞を配備するよう市町議会に求めていく考えを示した。県議会11月定例会議の一般質問で、新聞配備が全国的に比べて低水準だと指摘を受けてきた。県や文部科学省の調査によると、2019年度に県内の公立220校のうち学校図書館に新聞を置いていたのは25.5%に当たる56校で、全国平均49.4%の半分にとどまっている。公立中も93校のうち17.2%の16校にとどまり、全国の

46.6%を大きく下回っていた。県立高校は全校に配備していた。九里学議員(チームしがほ)は「新聞各紙を積み重ねることは、子どもが主体的、客観的な判断をする上で役立つ」と、学校への配備を求めた。福永教育長は「新聞は社会への関心を高める。新聞を活用した読解力を育成する授業の実践例を紹介するなど、市町立学校に新聞配備を働きかけたい」と述べた。

三日月大造知事も「学校図書館は学習支援の場としても重要な役割を担っている。新聞で知識を深め、自ら考え、判断し、行動していく主権者になることにつながる」との認識を示した。(福井雄)



15年間関わってきたRD現場 2次対策工事完了へ。

きれいになった現場



チームしが 県議団

会派ニュース

発行責任者/今江 政彦
編集責任者/塚本 茂樹

2021年12月 第29号

チームしが 県議団 〒520-8577 大津市京町4丁目1-1県庁2階 TEL/077-528-4035 FAX/077-510-6520 MAIL/info@knw.jp

チームしが 県議団 検索

11月定例会議 代表質問

今現在、私たち県民が直面している課題は、気候変動、原油価格の上昇による日本経済への影響など、コロナ禍だけに止まりません。「ピンチをチャンスに!」と、私たちはこれまでから幾多の課題を乗り越えてきました。世界を震撼させるような出来事の後には、大きな変革がもたらされたことを思い起こす時、今を生きる私たちは、時代の曲がり角にいます。「政治をあきらめない」、「政治は未来をつくるもの」、今後も地方議員としてできることを追求していきたい、この思いを新たに、会派を代表して大橋通伸議員（長浜市選挙区選出）が知事ならびに警察本部長、教育長に質問しました。（12月2日）

※動画も是非ご覧
ください↓



滋賀にふさわしい税制 について

Q 先月開催された第12回の税制審議会において「CO₂ネットゼロ社会づくりのための税制について」の答申案が示されたが、具体的にとのような方向性が示されたのか、またこの答申案を受けての課題や可能性などについての見解を伺う。

A 知事 答申案では、大きく2つの方向性が示された。

1つ目は、炭素税について、地方レベルでの導入は困難であり、仮に、国で導入されるにあたっては適切な地方配分を求めていくべきであるとの意見をいただいた。国における制度設計の段階から、適時に、地方としての声をあげていくことが課題である



代表質問に立つ 大橋 通伸 議員

と認識している。

2つ目は、県独自の取組として、先行的・積極的な取組に対してインセンティブを付与していくための、必要な税制上の措置について、検討を重ね、努力していくべきとの意見をいただいている。その際の課題は、所得の多い人に対する優遇措置に偏ってしまうことがないように配慮する必要がある一方で、将来世代に課題を先送りすることにならないようにも配慮する必要があると認識している。

Q 「地域公共交通を支えるための税制の導入可能性について」いわゆる「交通税」については継続的に議論されてきたが、もともと厳しい経営状況にあった地域公共交通は、コロナ禍でさらに厳しい状況にあり、これらの維持を目的とした税制の導入の可能性についての議論が必要である一方、脱炭素社会の実現に向けて地域公共交通が果たす役割も大きく、「CO₂ネットゼロ社会づくりのための税制について」の答申案を踏まえた上で、更なる発展的な議論が必要となる。現時点での課題や可能性等についての考えを伺う。

A 知事 公共交通の将来像が予測しにくいという課題や、県民との合意形成をどのように進めていくのかという課題もあるが、地域公共交通には、CO₂ネットゼロ社会における交通手段としても期待される役割は大きいと考えられるので、利用者のみならず地域の皆さんで支えていくための仕組み作りができないか、引き続き、丁寧に議論を重ねていきたい。

新型コロナウイルス感染症 に関連して

Q 第5波では自宅療養者への対応に課題があり、地域の医師会や訪問看護ステーションや薬局との地域ごとでの連携、地域での対応の格差がでないように、事前に体制整備に取り組むことが求められる。医療提供体制の強化や、自宅療養者を支える体制整備について伺う。

A 知事 第5波での課題を踏まえ、陽性確認前からの回復・療養解除後まで切れ目なく対応できる体制の強化を進めており、11月末には、今後の感染拡大に備えた具体的な取組をとりまとめた保健・医療提供体制確保計画を策定した。

医療提供体制については、陽性患者のうち高齢者割合が増加することを想定し、病床の確保を行い、病床ひっ迫時に入院待機者を速やかに受け入れるため、臨時の医療施設である滋賀県安心ケアステーションを設置した。自宅療養者に対して定

期的・継続的な健康観察を実施し、速やかに治療につなげる体制を強化するため、保健医療圏域ごとに、対応可能な医療機関や薬局をリスト化し、関係団体で共有し、感染状況に応じた保健所の応援体制を整えた。

療養者にこれまで以上に安心して療養していただくよう、こうした取組が確実に運用できる体制の充実を図り、中和抗体薬や今後想定される経口薬の投与体制など、新たな課題に対しても、国の動向を踏まえ、速やかに対応していく。

Q ワクチン接種では多くの方が副反応でつらい思いをされ、副反応については、県としても正確な情報の収集と提供、真摯な対応をすべきと考える。また、ワクチンの追加接種については、交互接種とならざるを得ない県民が多く発生し、ワクチンの希釈の有無や、量の差など医療関係者の取り扱いのミスも懸念されている。副反応の正確な情報提供と当事者への対応、および3回目のワクチン接種等への対応について伺う。

A 知事 副反応と疑われる症状については、国で専門家による調査と評価が行われ、県は、情報収集に努め、わかりやすく県民に情報を発信していきたい。副反応に悩まれる県民の方が受診につながるよう、引き続き副反応相談窓口を設置し、健康被害救済制度を活用できるよう改めて周知を図っていく。

追加接種については、ファイザー社製ワクチンの供給不足が見込まれており、国に対し追加配分を要望しているが、多くの高齢者に交互接種をお願いする必要があると考えている。

国に対し交互接種における安全性・有効性について丁寧な説明を求めているが、市町における間違い接種を防ぎ、交互接種が確実に実施できるようしっかりと支援していく。

12歳未満の方へのワクチン接種については、国での専門家による議論が始まったところで、県として情報収集に努め、今後の対応を市町と検討していく。

その他の質問項目

- 財政運営と来年度予算について
- インターネットでの情報発信について
- 滋賀で暮らす外国人について
- 野生動物との共生と獣害対策について
- 滋賀県保健医療計画について
- 観光行政について
- 今後の都市計画・住宅政策の課題について
- 不登校ならびに夜間中学について
- 警察行政について

予算と施策に関する提言書を 三日月知事に提出

長引く新型コロナウイルス感染症の影響によりコロナ関連予算が増大する中で、将来世代に負担を先送りしないように財政規律を保持しながら、県民の安全安心を確保するため、令和4年度予算編成に向けて、予算ならびに施策に関する提言書を会派としてまとめ、三日月知事に提出しました。（12月21日）



<p>大津市</p> <p>かわい あきなり</p> <p>河井 昭成</p>	<p>佐くち よしえ</p> <p>佐口 佳恵</p>	<p>なりた せいりょう</p> <p>成田 政隆</p>	<p>おおはし みさのぶ</p> <p>大橋 通伸</p>	<p>すみだ こうや</p> <p>角田 航也</p>
<p>やまもと たかし</p> <p>山本 正</p>	<p>おがわ やすえ</p> <p>小川 泰江</p>	<p>えはた やはちろう</p> <p>江畑 弥八郎</p>	<p>なかざわ けいこ</p> <p>中沢 啓子</p>	<p>たなか まつたろう</p> <p>田中 松太郎</p>
<p>くのり まさぶ</p> <p>九里 学</p>	<p>とば よしあき</p> <p>富波 義明</p>	<p>つかもと しげき</p> <p>塚本 茂樹</p>	<p>いまえ まさひこ</p> <p>今江 政彦</p>	<p>近江八幡市・竜王町</p>
<p>草津市</p>	<p>守山市</p>	<p>彦根市・犬上郡</p>	<p>甲賀市</p>	<p>米原市</p>